

島添ホム通信

令和5年度
第21号
令和5年6月10日
島添ホーム

歴史・文化に触れる…

日頃は仕事や学校で利用者全員が揃う機会はなかなかありませんが、ある日の夕方、珍しく勢ぞろい。良い機会なので、うるま市の海中道路までドライブしました。海中道路は勝連半島から平安座島、宮城島、伊計島、浜比嘉島に繋がっています。車で行けるとはいえ、離島はやはり独特などこかさがあり、とても癒されます♪利用者も「静かで良いね～」と癒されていましたよ。

浜比嘉島ではシルミチュー(市指定有形民俗文化財)も見ました。シルミチューは森の中に大きな洞穴があり、琉球開闢(かいびゃく)の祖神のアマミチューとシルミチューが居住したところと伝えられています。毎年、年頭拝みには比嘉のノロ(祝女)が中心となって海浜から小石を1個拾ってきて、洞穴内に安置された壺に入れて拝んでいます。また、洞穴内には鍾乳石の陰石があり、子宝が授かる靈石として崇拝されています。

【うるま市教育部うるま市の伝統文化HPより一部抜粋】

夕方の薄暗い中、大きな蜘蛛の巣がはっている場所で少しドキドキでしたが、利用者からは「初めて来た。沖縄って小さいと思っていたけど、まだまだ分からない事だらけなんだね。スゴイね。色々な事を知りたいな。」の声が上がっていました。自分の土地の歴史を知る事は大切な事。今後も時間を見つながら、文化に触れていきたいなと改めて感じました。



この先に
シルミチュー!

